

横手城南高等学校アクティブボランティア第2弾！

## 山内三又地区 人参収穫ボランティア

10月31日（日）。1年生14名、2年生21名が参加して、山内三又地区にて「山内になじん」収穫のボランティアが行われた。朝から天気がよく、素晴らしい農作業日和となった。

学校からバスで山内三又地区まで移動し、控え場所である会館に荷物を置いた。持参した長靴に履き替えて、準備は万端！4カ所に分かれて作業に取りかかることになった。

今回は、男子が1、2年生併せて6人。実は、人参より収穫に力が必要な大根の班が1つあり、一緒に参加してくださった校長先生と男子6人が大根掘りに向かった。50～60センチくらいのもので美味しそうな大根を、みんなで楽しそうに収穫した。



一方、女子は3カ所に分かれて人参を掘った。昨年の人参掘りも、今年の春の田植えもあまり人数が多くなかったのか、心配だったのが、だいぶ収穫が終わっているところもあったが、久しぶりにたくさんの生徒が参加できたので、予定以上に作業が進んだようだ。

「山内になじん」は、30センチほどの長さの、肩が張っていて先っぽが細く伸びている特徴的な人参。地中深く育っているもので、先端が折れないようにものすごく気をつけて掘るが、なかなかうまく掘れない。どうしても引いても抜けない人参は、スコップを使って丁寧に掘ることもあった。始めはうまく掘れず、力の要れ具合もわからずがむしゃらに頑張っていたが、少しずつ要領を得てスムーズに掘り続けた。2時間近く畑で作業をして、活動を終えた。

会館に戻ると、山内地区の方々が芋の子汁を作って待っていてくれた。味噌仕立て（4本足の動物の肉には味噌、2本足の動物の肉には醤油がベストなのだそう）のおいしい芋の子汁は、おかわりが続いて、鍋を空っぽに



しまった。今年の暑い夏と大雨の被害が少ない天気を思えば、人参は豊作なのかと思っただけ、暑すぎてもうまく育たないらしく、決して人参には良い季候ではなかったようだ。

それでも、今年度も無事に「山内になじん」ボランティアは終了した。次の日は、少しばかり体が痛かったが、紅葉を臨みながら、穏やかに充実した秋の一日を過ごすことができた。



